



熊本城



熊本大会

第44回建築士事務所協会全国大会報告

開催地 / 熊本県・熊本城ホール

日時

令和4年9月30日(金)

第44回全国大会が9月30日(金)に、熊本市の「熊本城ホール」で開催されました。今大会は「大自然の脅威に耐えて今そして未来へ」を大会テーマとし、式典や基調講演、パネルディスカッションをはじめとする様々なプログラムが開催されました。コロナで開催が1年延期され、待ちに待った開催です。石川会からは、小林会長をはじめとする総勢16名が参加しました。2泊3日の旅程で、大会プログラムの他にも現地の建築や史跡などを巡る、コロナ禍以来、久々の内容の濃い旅路となりました。

大会式典前日の29日には、「つながる建築、つなぐ人 ～ブロック青年部会の構築、その先へ～」をテーマに、若手建築士を中心とした『青年話創会(わそうかい) 2022熊本大会』が開催され、石川会からは山岸副会長、宮坂理事、永井理事が参加し、単位会の活動報告、テーブル討議と題した全国の同年代会員と意見交換など、交流が行われました。

大会当日、基調講演では伊東豊雄氏による「これからの社会と建築を考える」、パネルディスカッションでは



熊本城ホール

コーディネータに田中智之氏、パネリストに大西一史氏、西村浩氏、泉英明氏、山下裕子氏が登壇し、「これからの人・まち・建築を考える」をテーマに興味深い議論が交わされました。



続く大会式典では、日事連建築賞表彰、年次功労者表彰等を行い、山岸副会長が年次功労者表彰を授与いたしました。山岸副会長、おめでとうございます。式典には全国の建築士事務所協会会員、来賓を合わせ、1,100余名が参加しました。

視察に関しては、29日(木)に小松空港から福岡空港に入り、そこからバスで熊本まで往復する旅程であったため、福岡から熊本のバラエティに富む建築、史跡を訪ねることが出来ました。熊本城の視察においては、特別に熊本城総合事務所の担当者に修復計画や仮設建築物について解説頂きました。まだまだ地震の爪痕が残る現場、修復工事の困難さを実感するとともに、見学者を受け入れながらの仮設計画のあり方などを学びました。

他にも唐津城、吉野ヶ里歴史公園、熊本中央警察署、八千代座、歴史公園麹智城、太宰府天満宮など、弥生時代から現代まで、北部九州ならではの視察となりました。

食事も呼子のイカにはじまり、地鶏や馬刺し、からし蓮根などを堪能し、バスでの時間を含め、参加会員同士の懇親もとても深まったと思います。



唐津城



八千代座



吉野ヶ里歴史公園



歴史公園麹智城

来年は、鳥取・島根大会が米子にて開催されます。今回同様、石川からは少し行きにくい場所だからこそ、多くの発見もあると思います。会としてもできるだけ協力、応援していきたいと考えます。最後に企画・運営に尽力された皆様に感謝申し上げます。

文／浦建築研究所 浦 淳

石川県建築士事務所協会会報

2022・12月18号 Harmony 令和4年12月発行

発行者／(一社)石川県建築士事務所協会 編集者／広報委員会

TEL(076)244-5152 FAX(076)244-8472

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号(石川県建設総合センター5階)

E-mail:ishikyokai@ishi-kjk.or.jp URL:http://www.ishi-kjk.com